

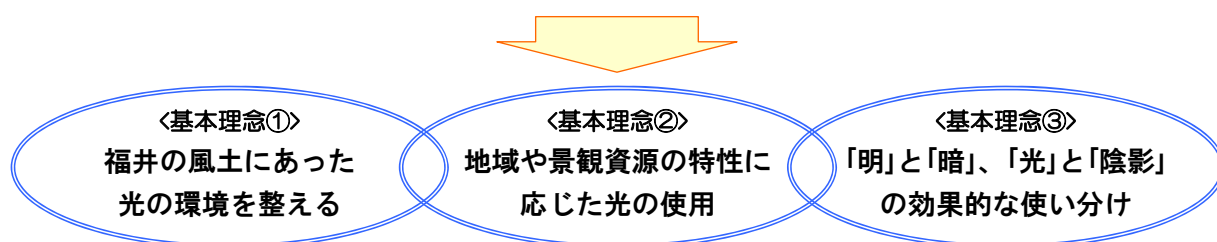
6. 魅力ある夜間景観の形成に関する基本方針

(1) 基本方針の体系

- ・夜間景観の課題に対応し目指すべき夜間景観像の実現を目指すため、3つの基本方針を定め、各種施策や事業と連携するとともに、市民、事業者との協働により推進します。

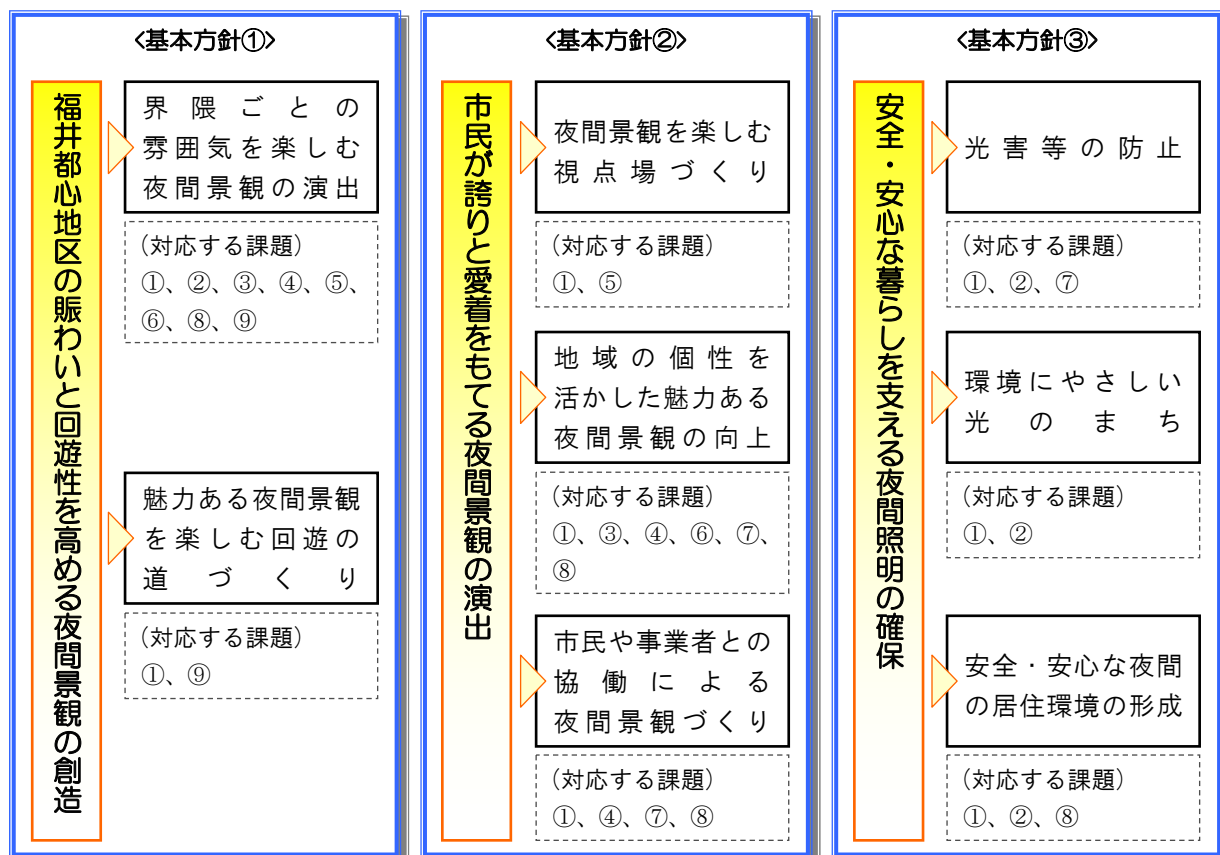
〈夜間景観における主要課題〉

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ①夜間景観に関する市民の関心を高める | ⑥夜間景観を考慮した建築物等のデザイン |
| ②安全・安心な暮らしを支える光の充実 | ⑦周辺環境と調和する照明環境 |
| ③照明環境の多様さと調和 | ⑧市民、事業者、行政の協働・連携 |
| ④福井固有の景観資源の活用 | ⑨夜間における回遊性の創出 |
| ⑤夜間景観を楽しむ場所の創出 | |



〈夜間景観形成の目標〉

やさしい光が織りなすまち ぶくい!



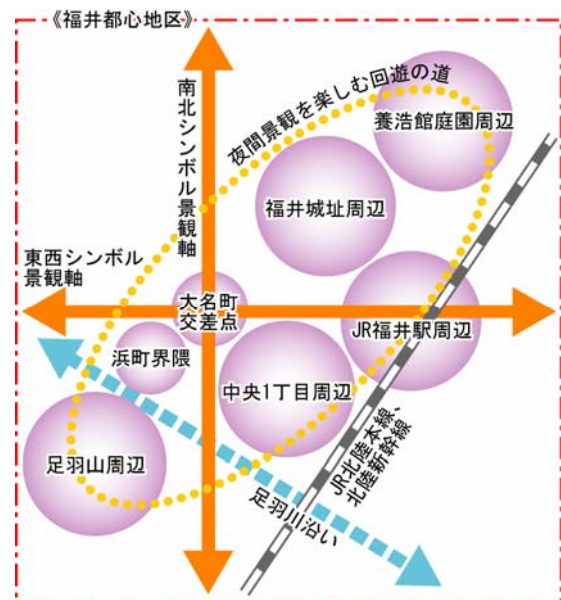
(2) 魅力ある夜間景観の形成に関する基本方針

基本方針① 福井都心地区の賑わいと回遊性を高める夜間景観の創造

- 福井らしさをもっとも実感できる福井都心地区では、商業、業務、歴史、自然等の資源の集積性を活かしながら、魅力ある夜間景観の創出に重点的に取り組みます。
- 商業活性化や観光振興などのまちづくり施策と連携しながら、夜間における賑わいや楽しさを創出します。
- 界索性やテーマ性などを考慮した夜間の回遊ルートを設定し、“一步先へ”行ってみたくなるような仕掛けづくり、行く先の“期待感”が感じられるような演出を行います。
- 建築物や街路灯などは夜間の見え方も意識してデザインするとともに、陰影にも配慮して光で演出し、さらに、ショーウィンドーなど建築物の内側から発せられる光も効果的に活用しながら、公共空間と私的空間が一体となって夜間景観を良好に演出します。

i) 界限ごとの雰囲気を楽しむ夜間景観の演出

- ・福井都心地区は、県都福井市の玄関口である JR 福井駅及びその周辺の都市的空間、中心市街地における賑わいの核となる商店街、福井を代表する歴史資源である福井城址や養浩館庭園、まちの目印である足羽山や足羽川、ランドマークとなる建築物など、特性の異なる景観資源・要素が幾重にも織りなしている場所です。
- ・このため、各界限及び各景観軸の特性を踏まえた夜間景観の将来像(テーマ)を設定することで、それぞれのテーマのもとに公共空間と私的空間の光が一体となって界限や景観軸の魅力を創出します。
- ・このうち、南北・東西のシンボル景観軸となるフェニックス通りやシンボルロードなどの通りにおいては、暖かみのある光による統一を図り、人々や車両の往来を誘導します。
- ・また、足羽山、まちかどや広場空間、橋詰や橋中などの整備・演出を図り、出逢いや楽しさがあり、誇りが感じられるような視点場として活用します。



界限（ゾーニング）と景観軸の構成

ii) 魅力ある夜間景観を楽しむ回遊の道づくり

- ・良好に整備・演出された界限の夜間景観を楽しむことができるよう、安全で快適に歩くことのできる歩行者空間の整備・充実を図ります。
- ・各界限間を結び、都心地区全体としての回遊性を高めるため、モデルとなる夜間回遊ルートを設定し、光やサインによりルートを示すとともに、仄暗さを活かして次への期待感を高めながら、一步先へと人々を誘導していきます。

(※本方針に関する詳細は、「8. 福井都心地区における夜間景観の魅力創出に向けた整備イメージ」を参照)

基本方針② 市民が誇りと愛着をもてる夜間景観の演出

- 夜間景観を良好に整備・演出するとともに、まちかどや橋詰、山頂部などにおいて、夜間景観を楽しむ視点場を整備・演出します。
- 地域における景観資源として活用すべきものの形態・意匠やその周辺の環境などを十分に考慮して、もっとも適切かつ効果的な光によって演出します。
- 地域のイベント等と連携するとともに、市民や事業者の意識を高めながら主体的な取り組みの継続・発展を促し、協働により愛着のもてる魅力ある夜間景観を創出します。

i) 夜間景観を楽しむ視点場づくり

ア) 福井の夜間景観全体を楽しむ視点場の整備・活用

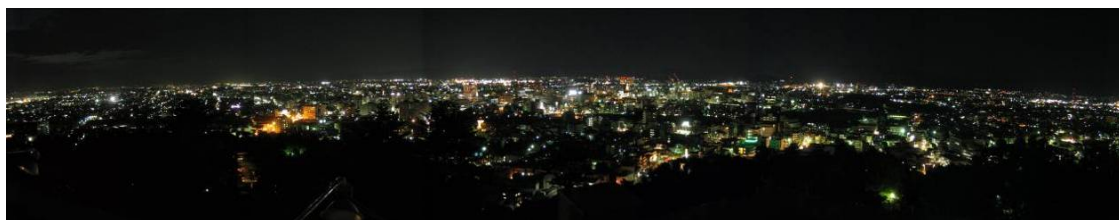
- ・福井の地形的特性から、夜間景観全体を楽しむことができる場所は、中央の「足羽三山」と東部の「東山周辺」、西部の「国見岳、下市山・深谷一带」が主となります。
- ・これらの場所において、視点場となる広場空間や休憩施設の整備と安全対策、視点場に至るアプローチ道の整備・演出を行い、ふるさと福井に対する市民の愛着心の醸成を図るとともに、福井の夜間の魅力を全国に発信します。



国見岳からの眺望
(堀誠一郎氏 提供)



深谷霊園からの眺望
(山田清信氏 提供)



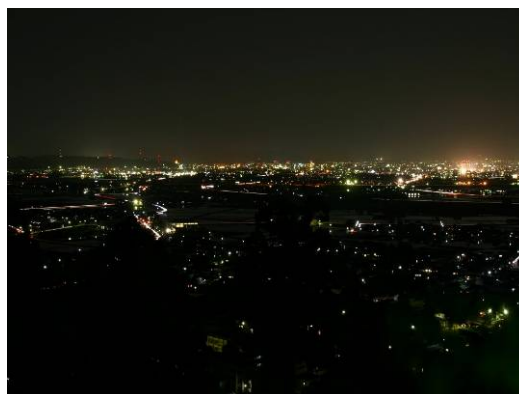
自然史博物館（足羽山）からの眺望



東山公園からの眺望

イ) 身近に夜間景観を楽しむ視点場の整備・活用

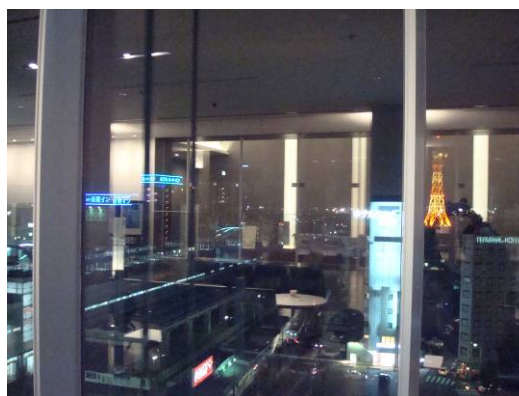
- ・足羽三山、東山周辺、国見岳～下市山・深谷
一帯以外でも、城山や文殊山、槇山城址、グ
リーンハイツなどからも福井市街地を眺望す
ることができ、身近な夜間景観スポットとし
て地域住民に親しまれています。
- ・これらの場所についても視点場としての整
備・活用に努めながら、夜間景観に対する市
民意識の向上と愛着心の醸成を図ります。



槇山城址からの眺望
(堀誠一郎氏 提供)

ウ) 福井都心地区における視点場の整備・活用

- ・福井都心地区においては、足羽山の愛宕坂や
三段広場などが視点場の核となります。
- ・これらの場所を利用して、安全で一度に大勢
の人が夜間景観を楽しむことができる視点場
づくりを行います。
- ・また、平坦な地形であることから建築物の高
層階も視点場として重要となり、自然史博物
館、AOSSA、駅西口の再開発ビル（計画中）、
商工会議所、合同庁舎などの公共的な建築物
を積極的に活用するとともに、民間建築物に
ついては協力を得ながら、夜間景観を楽しむ
ことができる視点場を増やしていきます。
- ・このほか、大名町交差点を中心とするまちか
ど、足羽川に架かる橋の中や橋詰において広
場空間の確保を図り、視点場や新たな出逢い
が生まれる場所として活用していきます。



AOSSA からの眺望



橋中のポケットスペース（九十九橋）

ii) 地域の個性を活かした魅力ある夜間景観の向上

- ・福井市には、県都福井の中心であり「光の核」となる福井都心地区以外にも、一乗谷朝倉氏遺跡や越前水仙群生地などの福井県を代表する観光拠点があり、さらには、地域固有の景観を形成している地区や福井を代表する歴史的建造物、全国に認められている景観資源（〇〇百選など）が数多くあります。
- ・これらの資源については、地域住民が主体となってライティングやイルミネーション等を行うなど、現に活用の取り組みが見られます。
- ・福井の夜間の魅力を総合的に高めるため、今後ともこれらの景観資源の積極的な活用を図り、対象となるものの特性や形態・意匠、周辺環境等に十分に考慮しつつ、もっとも効果的な演出となるよう光をデザインします。
- ・ただし、これらの地区や建造物等は、周囲を住宅地や集落、田園や山林、海岸などで囲まれているものが多いため、周辺環境との調和に配慮することが重要であり、また、地域活性化策として地域のイベント等に合わせて取り組むことも重要となります。

<景観形成重点地区>

- 一乗谷地区
- 越前水仙群生地地区

<地域固有の景観を形成しているその他の地区>

- (旧)北陸道沿道（浅水二日町ほか）
- (旧)東郷街道沿道（東郷二ヶ町周辺）
- 東大寺領荘園（糞置荘）と文殊山（上文殊地区）
- 山あいの棚田景観（高須町一帯）

<福井の歴史的建造物>

| | |
|--------|---|
| 町並み | 浅水の家並み、木田銀座通りの町並み、東郷二ヶ町の町並み、西谷町の家並み、花堂北の家並み、浄教寺町の家並み |
| 民家 | 丹巖洞草庵、おさごえ民家園、石田家住宅、村田家住宅、二本木家住宅、今村家住宅、松島家住宅、谷口家住宅、角原町の民家、銚ヶ崎町の民家、羽坂町の民家、尼ヶ谷町の民家、国山町の民家、大谷町の民家、荒谷町の民家、細川家住宅、川尻町・両橋屋町民家、免鳥町の民家 |
| 寺院・神社 | 専照寺、大安禅寺、瑞源寺、泉通寺、西藤観音堂、大安寺観音堂、聖徳太子堂、泰澄寺大師堂、春日神社、教応寺、願念寺、浄光寺、性光坊、西雲寺、八王子神社、愛染寺、欣浄寺、大乘寺鐘楼門、簸川神社、白山神社、樺八幡神社、本向寺本堂、法雲寺、賀茂神社、広善寺 |
| 近代・その他 | 福井聖三一教会堂、旧福井信託(株)、旧足羽揚水ポンプ場、セーレン(株)本館、(有)小倉金物、豊岡家住宅、清水家住宅、養浩館、池田家長屋門、小澤家長屋門、毛利家長屋門、北菅生町の蔵、一乗谷朝倉氏遺跡、大安禅寺千畳敷、通安寺狛家廟所、足羽山公園 |
| 土木 | 小和清水発電所 |

〈全国に認められている景観資源（〇〇百選など）〉

| | |
|-------------------|------------------------------|
| さくら名所 100 選 | 足羽川・足羽山公園 |
| 日本の渚百選 | 越前海岸 |
| 夕日百選 | 越前海岸（越前町） |
| 日本 100 名城 | 一乗谷城 |
| 日本百名橋 | 九十九橋 |
| 中部の駅百選 | ハーモニーホール駅 |
| 元気のある商店街 100 | 福井駅前商店街 |
| 続 元気のある商店街 100 | 田原町商店街 |
| 都市景観大賞 | 西部緑道（景観形成事例部門：小空間レベル、平成 7 年） |
| 日本の歴史公園 100 選 | 養浩館庭園、北の庄城址公園 |
| 美しい日本の歴史的風土 100 選 | 戦国大名朝倉氏一乗谷遺跡、松平家城下町の遺産 |

（※以上、福井市景観基本計画より）



一乗谷朝倉氏遺跡唐門のライトアップ



越前朝倉万灯夜



上文殊火祭り（清水喜彦氏 提供）



田原町ろうそくイルミネーション

iii) 市民や事業者との協働による夜間景観づくり

ア) 夜間景観に対する市民意識の醸成

- ・市役所をはじめとする公共施設や道路、公園、河川等の公共空間は、市民や事業者の取り組みの先導役となるような夜間景観の整備・演出を行い、市民意識の醸成を図ります。
- ・「都市景観賞」や「福井の景観再発見」などを通じて良好に演出された建築物等や市民・事業者などの活動例を積極的に紹介しながら、夜間景観づくりの輪を広げていきます。
- ・また、モデルとなる夜間の回遊ルートを示したルートマップを作成・配布し、魅力ある夜間景観のPRと夜間の回遊を誘導します。



市民等による夜間景観の演出の例



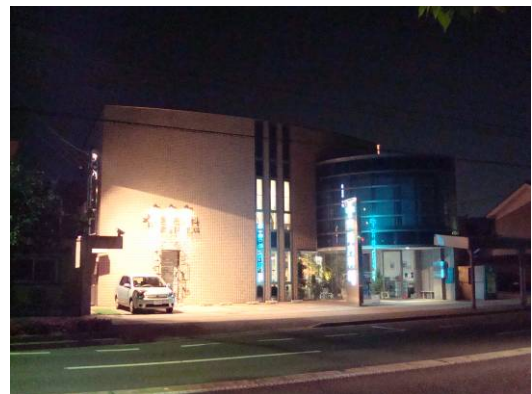
市民等による夜間景観の演出の例

イ) 夜間照明に対する適正な技術や情報の提供

- ・不適切な光によるライトアップ等は、対象物の形態・意匠だけでなく、その地域全体のイメージを損ね、さらには、周囲の環境に対して光害となる恐れもあります。
- ・本ガイドラインを参考に、光の性質や照明に関する基礎的な知識の普及と啓発を図るとともに、光が良好にデザインされた建築物等の事例を紹介する場や機会を増やしながら情報の提供を行い、市民や事業者の取り組みを誘導していきます。



良好にライティングされた建築物の例



良好にライティングされた建築物の例

ウ) 市民・事業者との協働による取り組みの推進

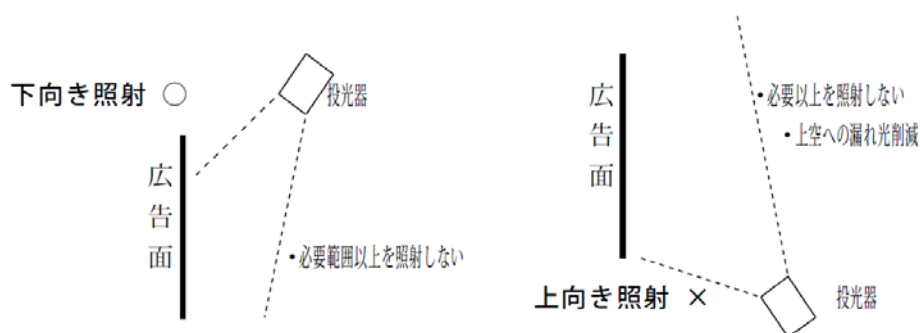
- ・LEDなどの新技術の開発・普及により、市民や事業者が手軽にイルミネーションなどを楽しめるようになり、市民や事業者の取り組みが活発化しています。
- ・これらの活動に関する団体や商店街、事業者、大学、地域住民などとの情報の共有化・連携を図り、光の輪がつながった、より魅力的な夜間景観の創出に努めます。
- ・また、行政と協働で取り組むなど、活動が継続して行われるよう支援していきます。

基本方針③ 安全・安心な暮らしを支える夜間照明の確保

- 周辺の住環境や交通環境、生態系等に対して光害とならないなど、眩しさのない照明環境を整備します。
- 門灯による一軒一灯運動など地域住民の協力を得ながら、夜間も安全で安心して外出できる地域環境を形成します。

i) 光害等の防止

- ・近年、屋外照明の不適切な使用や過剰な使用により、生態系への悪影響や交通への障害、住環境の快適性の低下などといったいわゆる「光害」が問題となっています。
- ・このため、対象物への光の当て方の工夫、適切な照明器具の使用による上空や周囲への漏れ光の抑制、照明による不快な眩しさ（グレア）の低減などを図るとともに、自動販売機や屋外広告物への投光など、通行時に目に入りやすい照明についても適切に誘導していきます。（※光害対策については、「7. 夜間景観における照明の要件」を参照）

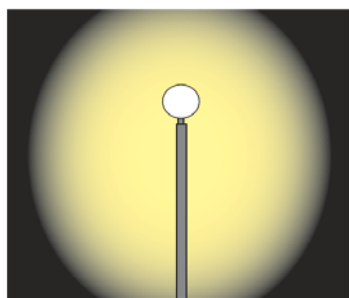


光害を防止するための光の照射方法（広告物の例）

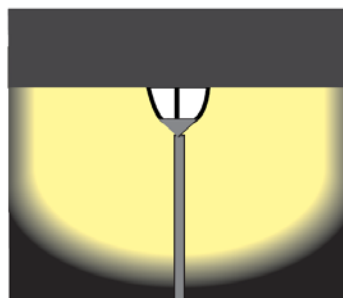
（出典：環境省 光害対策ガイドライン）

ii) 環境にやさしい光のまち

- ・照明器具の設置に当たっては、太陽エネルギーや風力エネルギーをはじめとするクリーンエネルギーを採用するなど、自然環境に与える負荷の軽減にも配慮します。
- ・また、エネルギーを効率的に使用するため、できる限り効率の高い光源や照明率の高い照明器具を使用します。
- ・このほか、点灯時間の抑制や調光制御など照明を適切にコントロールするとともに、星空観察会に合わせた一斉消灯なども有効と考えられます。



配光を考えていない街路灯



配光を考えている街路灯

（出典：環境省 地域照明環境計画策定マニュアル）

iii) 安全・安心な夜間の居住環境の形成

- ・ 歩行者や夜間の通行の安全性を確保し、また、ひったくりや痴漢、建物への侵入等の犯罪の発生を防止するため、街路灯や防犯灯を適切に配置するとともに、住宅の門灯の設置・点灯など地域住民の協力を得ながら、過剰な明るさや暗闇を排除します。



門灯による夜間の居住環境向上の例



門灯による夜間の居住環境向上の例